

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	nico		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員の子どもに対する向き合い方、姿勢	・研修や子ども一人一人に対する話を繰り返し行っていくことで、情報共有がなされ、しっかりとした方向性のもと支援を行うことができている。	・今まで行ったことのない研修を取り入れたり、月間療育冊子「パレット」をもとに、話し合いを行っていきたいと感じた。支援の引き出し、声のかけ方、タイミング、環境の工夫などを学び、さらなる職員の資質向上に努めていきたい。
2	・専門的支援の実施	・個別支援計画とは別に、専門的支援計画がたてられ、それをもとに支援を行っていくことを大事にしている。子ども一人一人に合った支援を行うことで、ただの「預かり」ではなく、専門的な支援「療育」に結びつけることができているのではと感じ	・専門的支援の引き出しの拡充。一人一人に合った内容かの振り返りをし、職員の支援の目をしっかりと養っていききたい。
3	・事業所内の環境の工夫	・視覚的支援を大切にしながら日々の生活の流れをルーティン化していけるようにしている。 ・活動に時間差をつけたり、空間を工夫したりしながら、一人一人の気持ちの乱れにも適切に対応している。	・広い空間を最大限に活用し、子どもの姿に合わせた環境の工夫を行っていききたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・広い空間がゆえに、職員間の連携がとりにくい場面がある。	・いくつか部屋があることと、1階と2階で子どもが行き来する際、声を掛け合いながら子どもの姿に合わせて職員が動くようにしているが、その際に声掛けが足りなかったのではないかな。	・「〇人、います」というような人数把握ができる声掛けを行っていくことにしていった。また、誰もいない部屋は電気を消すことで、子どもにも視覚的に「この部屋は今は誰もいない」ことを知らせていくようにしている。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		nico		公表日		令和7年3月20日					
				利用児童数		24人(うち兄弟2組)		回収数		20人	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	1		1	活動内容に合わせて、空間をうまく利用されていると感じます。				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2		6					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1		2	実際に活動をしている姿を見ていないのでわからない。	視覚的な支援も取り入れながら、「わかりやすく」を大切に環境の工夫をしています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19			1					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1		1	職員の先生方がしっかりと子どもに向き合っていると感じます。				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	1	1						
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1		1					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	2		2	デイのガイドラインがあることすら知らなかった。	厚生労働省より、ガイドラインが出ております。			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	2		1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1							
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	2	1	5	児童館に行ったという話や活動内容を目にしたことがないのでわからない。	子ども食堂は行っていますが、児童館へは行ったことがありません。今後、児童館との交流を取っていく機会を模索していきます。			
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1			契約時にしっかりと説明をしてもらいました。				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	1	1	3	子ども食堂等、家族もイベントに参加できるのはとてもいいと思う。				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	4	1	2	HUGでしっかりと子どもの姿が伝わってきてわかりやすく安心できる。				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	3	1	3	定期的とは、どれくらいの頻度なのかかわからない。	進学時や半年に1度は面談を行っています。お困りごとなどがありましたら、お気軽にご連絡ください。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	2	1	1	シングルマザーだという点を、もう少し理解していただき、苦労や多忙さに共感していただけると嬉しい。	お母様の負担が減るように、寄り添った支援を心がけていきます。			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	5	5	今後そのような機会があれば参加してみたい。	年に1、2度開催しております。父母の会や家族の交流の機会など、大切にしていけたらと思います。また企画させていただきます。			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2		2					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	2	1		通所日以外でも日々の活動内容の通知が届くので、HUGの開閉のタイミングに困る。	HUGの設定から、通知の選択ができるか と思います。一度設定の見直しをお願いいたします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1		4	子どもが事故やけがをしていないためわからない。	nicoでは、事故防止対策や、緊急時のマニュアルを作成しております。ヒヤリハットも行っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20				子どもは楽しく通っているが、2事業所間で「今日はどっち？」と子どもが迷うときがある。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	2		1	毎日通所を楽しみにしてくれているので、有難い。安心できる。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1	1	1	・日々、デイでの子どもの成長を感じます。 様々な経験をさせていただき、ありがとうございます。 ・普段知り慣れた職員が送迎に来てもらえる と安心です。	nicoでは、主に送迎をお願いしている職員がいます。今後、送迎員さんにも研修を行うようにしていきます。具体的に不安な点がありましたら、管理者までご連絡ください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
nico		令和7年3月20日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	室内のスペース、部屋数を最大限生かして活動を行ったり、クールダウンのスペース取っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	職員との会議や日頃の会話を大事にしている。管理者自身も現場に立ち、職員の意見に耳を傾け、改善できるところがあれば都度考え改善している。	パートの先生の意見も、聞いていき、より多くの意見や考えに耳を傾けていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	第三者の意見を聞く機会を作り、業務改善を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	2	研修があれば、職員に辞令を出し、参加している。	それぞれの立場もあり、研修に参加できる機会が平等かと言ったらそうではない時もあるので、研修後、社内で伝達していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		アセスメント、モニタリング等適切に行い、計画を立てている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		支援の前に「本日もく子」の最近の様子や支援内容を確認しあっている。	職員全体で、同じ方向を向いて支援を行っていくことを大事にしていきたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		5領域を取り入れた活動を毎月行っている。	療育月刊雑誌や遊びの本を購入し、アイデアを出し合っている。これからもそのような場を大切にしたい。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		子どもに合わせて個別の対応はもちろん、集団への参加を促している。	職員の質の向上を図りながら、支援の質も高めていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		職員みんなが業務日報には目を通すようにし、共有、連携を大切にしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		職員から出た疑問や反省点などは、早急に話し合い解決するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		職員から出た疑問や反省点などは、早急に話し合い解決するようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	職員から出た疑問や反省点などは、早急に話し合い解決するようにしている。	学校によっては「保護者を通してお願いします。」というところもあったが、連携を取り、連絡調整をおこなったりしてきた。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	子ども食堂やおでかけの時には交流もまれにあるが、計画的に活動を共にする機会はなかった。	児童館とも連携がとれるなら、月に1度は一緒に遊び、地域との触れ合いも大切にしたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		9		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	保護者様への研修・情報提供などの機会があまりできていない。	保護者様向けの研修や情報の提供の機会を設けていきたいと思う。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	2	子ども食堂やバーベキュー、作品展を行い、保護者参加の機会も設けてきた。しかし、年に2, 3回だったため、もう少し定期的に行ってもいいのではないか。	定期的に行っていくことや、新しい取り組みを職員間で話し合っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		年間予定にも入っており、定期的に研修を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハットは報告を受けたら記録を残し、すぐに改善・対策を話し合うようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		年間予定にも入っており、定期的に研修を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9			